

【福島県男女共生センターからお知らせ】

○平成23年度男女共同参画基礎講座「福島大学との連携事業」

福島大学総合科目「ジェンダーを考える」受講者募集！

(趣旨)

本来は福島大学生のみ対象である福島大学の総合科目を、センターに申し込んだ方に限り、一般の方も受講できるようになりました。

県内外から、さまざまな分野の第一線で活躍している講師陣から、多方面のテーマについて「ジェンダー」の視点から考えます。

また、東日本大震災の被災者支援の観点から「災害とジェンダー」を共通のテーマとして、「災害と女性」、「被災者のこころのケア」、「復興のまちづくり」などについてもとりあげます。

(日程)

5/13～7/22の毎週金曜日 10:20～(90分)

(会場)

福島大学 L1教室

〒960-1296 福島市金谷川1番地 JR東北本線「金谷川駅」下車 徒歩5分

(福島県男女共生センターが会場ではありませんのでご注意ください。)

福島大学の駐車場(無料)を利用できますが、混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

(受講料)

無料

(対象)

県民の方ならどなたでも受講いただけます。※特に性教育やDV防止活動、男女共同参画の視点でのまちづくりについて感心のある方におすすめてです。

<講座は、全ての回でも、一つだけでも受講いただけます。>

◆講座紹介(日程・講師名・テーマ)※確定後

5/13 千葉 悦子 館長(福島大学教授)「ジェンダーを考える」ガイダンス 等

5/20 佐野 ハツノ 氏(飯舘村・民宿経営) 私のムラづくり実践～飯舘村からの報告～

5/27 坂本 恵 氏(福島大学教授) 県内の外国人女性労働者の権利をどう守るか

6/3 藍原 寛子 氏(ジャーナリスト) ジャーナリストが見た被災地～ジェンダーの視点から～

6/10 大島 煦美子 氏((財)新潟県女性財団理事長) 防災・災害復興と女性～新潟県中越大地震から見たこと～

6/17 関 幸子 氏(㈱ローカルファースト研究所所長) 変革期を迎えた日本のまちづくり～地域の自立と自らの役割～

6/24 堀 琴美 氏(郡山女子大学講師) 避難所の精神保健とジェンダー～こころのケア活動から見てきたもの～

7/1 宗形 初枝 氏(リプロダクティブ・ヘルスの会代表) 助産師と一緒に性 いのちについて

語りませんか

7/8 永瀬 悦子 氏 (助産師) 地域に生きる 人と共に生きる～助産師の地域活動から学ぶ～

7/15 遠藤 恵子 氏 (NPO法人市民メディア・イコール理事長) ジェンダーとセクシュアリティの問題をめぐって～私の個人的体験と問題意識から～

7/22 林 由美子 氏 (タカラ印刷㈱会長) 企業とジェンダー

◆申込方法

会津若松市役所企画調整課、各公民館に設置してあるチラシ、もしくはセンターHP (<http://www.f-miraikan.or.jp/stdy/stdy/stdydtl.aspx?cd=158>) をご覧の上、「申込書」に必要事項を記入し、センターへのFAX・郵送・直接持参にてお申し込みください。

また、メールでのお申込みも受け付けておりますので、必要事項(住所、氏名(ふりがな)、電話番号、FAX番号、性別、年齢、職業・所属団体、チラシの入手先、参加希望日程)をセンターへご連絡ください。(添付ファイルのあるメールは開封できませんのでご注意ください。)

◆問合・申込先:福島県男女共生センター 事業課

〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1

電話:0243-23-8304 FAX:0243-23-8314

Eメール:mirai@f-miraikan.or.jp

(発信元)

会津若松市企画調整課男女共同参画・市民協働推進グループ

〒965-8601 会津若松市東栄町3番46号

電話 39-1405 FAX39-1400